

≪阿南市在宅医療・介護連携支援センター事業≫ 阿南市在宅医療・介護連携促進ワーキンググループ会議 【報告書】			
会議名	阿南市在宅医療・介護連携促進ワーキンググループ会議		
開催日時	令和6年12月18日（水） 14：00～15：15	開催場所	阿南医療センター 2階講堂
報告者	湯浅		
議題	①意見交換会 ・ケアカフェについて ②各種課題に対する議論について ・阿南市救急医療情報シートについて ・認知症高齢者の緊急受診・入院等について ③その他		

議題①		意見交換
検討した項目	ケアカフェについて	
検討内容	①第2回ケアカフェの振り返り ②第3回ケアカフェの内容について	
結論	①「薬剤師連携について」の講義では、事前アンケートで質問のあった事項を分かりやすく説明していただき、特に、居宅療養管理指導については理解を深めることができ、今後の連携強化にもつなげることができた。 グループワークでは、薬剤師との連携と当センターが掲げる4つの場面についての議論を行い、コミュニケーションを図ることで様々な意見交換が行えた。 また、講義については当センターYouTubeに掲載し、動画研修への活用につなげている。 ②第3回ケアカフェについては、令和7年1月21日に開催される「令和6年度南部圏域在宅医療介護コーディネート事業研修会」を阿南保健所と連携して開催する。	
残された課題	防災等について、取り組む具体的な内容を定め、研修を開催し、医療・介護従事者の資質向上につなげる。	
備考		

議題②	各種課題に対する議論について
検討した項目	①阿南市救急医療情報シート ②認知症高齢者の緊急受診・入院について
検討内容	①阿南市救急医療情報シートの統一化について ②認知症高齢者の緊急受診・入院への対応について
結論	①阿南市救急医療情報シートの統一化について ・現在、在宅での救急対応については救急医療情報シートを活用しているが、数年前に独居高齢者のみ配布しているので、地域共生推進課から消防へ再周知を図る。 ・施設、救急、病院との効率化に向けて、医療情報シートが無い施設については一時的な情報提供として救急医療情報シートを使用し、入院になれば医療情報シートで情報提供を行うこととする。 ・担当ケアマネジャーがいる方は、お薬手帳に担当ケアマネジャーの名刺を入れて、受診時に持参することの啓発を行う。 ②認知症高齢者の緊急受診・入院への対応について ・原則、認知症があるからと言って受診等を断ることはない。 ・認知症患者の緊急受診について、受け答えや症状の訴えができないため、付き添いを行って欲しいが、付き添いがない場合は臨機応変に対応を行う。 ・入院により、徘徊等で対応が困難な場合は付き添いを依頼する場合がある。
残された課題	①②については、各サービス事業所部会代表者会で情報提供及び周知を行う。
備考	

議題③	その他
検討した項目	①研修案内について ②年未年始の対応等について
検討内容	①研修案内について ①阿南医療センターからの研修案内 ②阿南市在宅医療・介護連携支援センターからの研修案内 ②年未年始の緊急受診対応等について
結論	① ①研修案内があれば阿南市の協力のもと広報し、医療・介護従事者の資質向上につなげる。 ②阿南保健所と当センターが共催で開催する令和7年1月21日の研修について、ハイブリッド型で実施。阿南市内の医療関係・福祉関係の病院・施設・事業所に案内を行う。 ② ・阿南医療センターは現在、入院ベッド数が満床でありスムーズな退院への協力をお願いしたい。また、年未年始もできるだけの受入れ対応を行うが、入院については状況を鑑みての対応・準備をお願いしたい。 ・各施設では感染症（コロナウイルス感染症・インフルエンザ）が多く発症しており、抗原検査キットの在庫数が減少しているが、薬剤師会のホームページに抗原キットを販売している事業所一覧を確認すればスムーズな対応ができる。また、薬局の夜間対応一覧の活用を行う。
残された課題	
備考	

【会議風景写真】

